

稲城野草散策の会

野草スケッチ サクラソウ（サクラソウ科）



1997/04/26 稲城市矢野口（植栽） 絵と文 T a

「社団法人日本植物友の会」なる組織があり、私はその参与を仰せつかっている。

「参与」とはえらそうな肩書きであるが、一般会員として、年会費を納めている立場だ。

会報第89号 2012年5月13日発行 発行責任者 尼子 房夫

会として行う観察会のリーダーを、年に数回任される。そういう役目である。

友の会では毎月3～4回の行事を行っていて、そのうちの1回は「花のサロン」という、インドアの講演会に充てられている。

2000年1月、私に講演依頼が来た。

友の会のお歴々を前にして、2時間弱のスピーチである。テーマは、「冬芽」という指定だった。

さんざん考えて、題は「冬芽・スケッチ・インターネット」とした。

なにやら落語の三題噺（さんだいばなし）めいているが、ストーリーはこうである。

- ・資料に基づいて、冬芽（樹木）の観察ポイントや、似たものの比較を説明する。

資料は私の冬芽スケッチから編集する

- ・スケッチに話を移し、花のスケッチをお見せするとともに、スケッチの楽しさや苦労話を聞いてもらう

- ・植物観察に関連して、パソコン通信、インターネットをどう利用してきたか、また、今後の発展についての概要などを紹介する

資料はOHPシートにプリントした。

その中で、花のスケッチの一つに、サクラソウを取り上げた。

OHPでパッパッと見せるので、見栄えがよいものを選んだのである。

講演は好評だったようで、その後に会った会員の方数名から、面白かった、ためになった、という感想をいただいた。

お世辞にしても、うれしい。苦労した甲斐があったというものだ。

サクラソウは、残念ながら多摩丘陵には自生していない。

東京近郊での自生地は、浦和市（現さいたま市）の田島ヶ原が有名だ。

荒川の河川敷地内の湿地にあり、保護されている。

稲城野草散策の会でも何度かサクラソウの時期に訪れた。

ただ、最近では乾燥化や花粉媒介昆虫の減少などにより、絶滅が心配されているらしい。

回復を願わずにはいられない。

このスケッチは、稲城市矢野口で描いた。

じつは、我が家にあった鉢植えである(^_^)

かつて父親が育てていたものを、結婚したときに株分けしてもらった鉢だ。
西洋種（プリムラ）の血が混じっていない、純国産というのが自慢だった。
どういう経緯で父親の元へ来たのか忘れてしまったが、埼玉の親戚から貰ったと
いていたような気がする。

案外、田島ヶ原のものかも知れない。

その父親は30年ほど前に他界した。

登山中の滑落、即死だった。

同行者に外科医がいたのだが、どうにもならなかったという。

私も父親の没年齢にだんだん近づいてきた。

フィールドを歩いているときに、ふと、自分も野山で野垂れ死にするのではない
かと思うことがある。

それならそれで、本望ではあるが・・・

（2000年5月記）

* * * * *

〔観察記録〕 4月22日 千城台（ちしろだい）

今年の春は、週末になると天気が崩れるという律儀なパターンが、ずーっと続いて
います。

今週も日曜日は雨という予報でしたが、前日の予報では千葉方面は夕方から雨と
変わって、やれやれと思っていました。

集合場所の千城台北駅に着いた頃は、まだどんよりとした曇り空でしたが、集合
時間が近づいてくると、そろそろ、霧のような雨が降り始めました。

天気が悪い、遠い、という悪条件の観察会だったため、さすがに参加者は少なく、
千城台北駅に集合された方は17人、前月の5分の1ほどの人数です。参加者の
中には、自宅からは3時間近くかかったとおっしゃる方もいました。

千城台は昭和40年頃から開発が始まったニュータウンです。多摩ニュータウン
の開発が始まったのが昭和41年、両方とも高度成長の申し子のような町作りの
歴史があります。千城台あたりは北総台地の台地上になっていて、開発前は地域の
3分の2以上は山林だったそうです。

駅から北へ向かって少し歩くと交通量の多い道を横切って雑木林に入ります。こ
の交通量の多い道はかなり直線的な道で、近現代に造られた道のように感じられ
ます。ところがこの道には400年の歴史があるのです。1613年、徳川家康
は東金方面で鷹狩りを催すため、土井利勝に命じてこの道を作らせたそうです。

10里近いこの御成街道を利勝は、あっという間に完成させたそうで、そのため一夜街道とも呼ばれるそうです。もっとも、実際には3週間ぐらいはかかったようです。

現在でもこの周辺には、鷹の台、御成台、御殿町というような地名が残されていて、御殿町には御茶屋御殿跡という旧跡もあります。

雑木林に入った頃から雨が本格的に降り始めました。この雨は昼過ぎまで続きました。少し開けたところに出ると新緑の丘陵地が見渡すことができます。晴れていたら気持ちの良い景色だったでしょう。この辺りは千葉市に四街道市が食い込むような場所で、しばらく四街道市を歩いた後千葉市に戻って、御成台公園で昼食となりました。

午後からは地元のはるこさんも参加してくれて、はるこさんの案内で林の中を歩きました。

まずは、個人でクマガイソウを保護育成しているお宅の庭を訪ねました。今年は寒かったためまだ開花していないかもしれないと思っていたのですが、案に相違してドンピシャのタイミングで、たくさんの花を堪能することができました。林に入ってしばらくすると、左側の斜面を登ります。登りきったところは実に手入



れの行き届いた雑木林で、キンランにはちょっと早かったのですが、白から淡いピンク、淡い紫色など多彩な色合いのジュウニヒトエを楽しむことができました。その後もしばらく林の中を散策し、再び御成街道を横切って解散場所の千城台駅に戻りました。(とーはもん)

今回は少人数だったため、種名のアナウンスも名札貼りもやりませんでしたが、広沢さんから説明のあった植物名を列挙します。

▼観察記録（出現順）

コナラ(花)、ヒメコウゾ(花)、エノキ(花)、ヤマグワ(花)、オヤブジラミ、キツタ(実)、ナツツタ、ウミズサクラ(蕾)、ボケ(花)、アケビ(花)、ハウチャクソウ(花)、ミツバアケビ(花)、クマヤナギ、タチツボスミレ(花)、スイカズラ、ツタウルシ、マユミ、ハナйкаダ(花)、コスミレ、ネズミモチ、アオキ(花)、マンリョウ(実)、ベニシダ、サルトリイバラ(花)、モミジイチゴ(花)、ヤブタビラコ(花)、ヤブタバコ、ヤマユリ、アマチャヅル、カマツカ、シラヤマギク、ヤブコウジ、シロダモ、イヌワラビ、センニンソウ、サンショウ、ジュウニヒトエ(花)、クサボケ(花)、ナル

コユリ(蕾)、キンラン(花)、ナガバジャノヒゲ、オクマワラビ、ミゾシダ、ゼンマイ、ヤマコウバシ、イヌシデ、ウラシマソウ(花)、スタジイ、クマノミズキ、ムシクサ、コバンソウ、クサイチゴ(花)、カラタチ、クコ、ツルボ、スズメノヤリ、オオジシバリ、ノゲシ(花)、オニタビラコ(花)、セリ、ヘビイチゴ(花)、ムラサキシキブ、ナズナ(花)、タネツケバナ(花)、オランダミミナグサ(花)、オニノゲシ、マルバスミレ(花)、セントウソウ(花)、トウダイグサ(花)、タコノアシ、サワオグルマ、ニワトコ(花)、ミチタネツケバナ(花)、ムラサキケマン(花)、ケキツネノボタン(花)、トキリマメ(実)、アキカラマツ、カキドオシ(花)、キジムシロ(花)、タガラシ(花)、スズメノテッポウ、ノヂシャ(花)、ヒメスミレ(花)、ニオイタチツボスミレ(花)、ゴヨウアケビ、カラスノエンドウ(花)、スズメノエンドウ(花)、アマナ、クマガイソウ(花)、ヒトリシズカ(花)、ウマノミツバ、ツリガネニンジン、アカネスミレ(花)、イヌザクラ、イカリソウ、オトコヨモギ、ニョイスミレ(花)、イヌシヨウマ、コブシ、ノダケ、サワフタギ、ツルマサキ、イヌガヤ、ムクノキ、ジロボウエンゴサク(花)、ムベ、カラスビシャク(花)、ヒメフウロ(花)、ツタバウンラン(花)

〔行事予定〕 2012/6/10(日) 多摩森林科学園

項 目	説 明
集 合	am10時、多摩森林科学園「森の科学館」前付近 ※会旗目標
交 通	JR中央線快速、特別快速高尾行きまたは京王線高尾山口行きをご利用下さい JR中央線高尾駅北口から徒歩で多摩森林科学園に集合して下さい 途中、車の交通量が多いのでご注意下さい
行く先 (解散場所)	多摩森林科学園内を観察します。多摩森林科学園 pm3時半頃解散予定
見所 その他	樹木の観察
地 図	公園の園内マップは下記のURLからご覧下さい http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/annai/map.jpg
コース	多摩森林科学園内を観察します。

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

なお、入園料300円は各自でお支払い下さい

〔行事予定〕 2012/5/13（日） 三沢川下り

項 目	説 明
集 合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 多摩モノレールの場合、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 小田急線の場合は、永山駅または多摩センター駅で京王線に乗換え 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています シュウニヒトエなど春の花が見られると思います
地 図	
コース	若葉台駅→若葉台公園→上谷戸親水公園→高勝寺→清水谷戸→学園 広場→三沢川遊歩道→稲城駅（解散） 行程5～6km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円